

第 231 回
定例探鳥会

日時：2006 年 3 月 12 日 (日) 天候：曇り
コース：高来神社 化粧坂 水道山 一等三角点

先月はやっと咲き始めたウメが今月は満開となっていました。ようやく寒さも通り過ぎようとしているのか、曇っていても今までのようには寒くはありません。

3 月は恒例の「レンジャク探しコース」です。去年は全く見るができなかったのですが、今シーズンは大磯町・虫窪や伊勢原市・比々多神社で見られており、期待できそうです。

高麗山を右に見ながら歩いているとタカが稜線の上空を舞っていました。遠くからはウグイスのさえずりも聞こえてきました。鳴き初めでまだぎこちないメロディーが繰り返されていました。この冬は鳥の数が少ないのですが、それでも春に向かってツグミやシメは少し増えてきたように感じます。住宅地を抜けて林に入るとメジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、カワラヒワなどが姿を見せますが、やっぱり数は少ないようです。林の中では何ヶ所かでウグイスがさえずっていました。ところどころのサクラはまだつぼみが固いようですが、ウグイスの声を聞くと春の到来を実感できます。



結局レンジャクには出会えませんでした。春を感じさせる山の中を気持ちよく歩くことができました。

参加者

参加人数 38 名 (敬称略)

- | | | | | |
|-------------|--------------|-------------|------------|------------|
| 1. 朝倉 輝美 | 2. 鈴木 逸子 | 3. 荒川 計三 | 4. 瀬尾 隆 | 5. 中島 健次 |
| 6. 山田 文則 | 7. 佐々木 弥子 | 8. 向井 芳子 | 9. 上野 尚博 | 10. 西花 きよみ |
| 11. 下倉 紘一 | 12. 山内 隆雄 | 13. 室野 義晴 | 14. 大鍛治 雅夫 | 15. 大鍛治 幸子 |
| 16. 小島 興一 | 17. 小島 キヌ子 | 18. 吉田 宣子 | 19. 遠藤 友貴彦 | 20. 遠藤 順子 |
| 21. 松井 慎吾 | 22. 古尾谷 七郎 | 23. 岩沢 登茂子 | 24. 大谷 秋代 | 25. 小野 肇 |
| 26. 大坂 英樹 | 27. 片倉 暹 | 28. 沢田 興三 | 29. 古賀 勝秋 | 30. 清水 哲子 |
| 31. 関谷 育雄 | 32. 関谷 昂 | 33. 小谷 茂雄 | 34. 中村 豪夫 | 35. (田端 裕) |
| 36. (金子 典芳) | 37. (内山 規矩雄) | 38. (岩佐 昌夫) | | |

見聞きした鳥

種類数 21 種 (sp を含む)

- | | | | | |
|------------|----------|-----------|-------------|-------------|
| 1. トビ | 2. オオタカ | 3. キジバト | 4. ドバト | 5. コゲラ |
| 6. アオゲラ | 7. ヒヨドリ | 8. ジョウビタキ | 9. ツグミ | 10. ウグイス |
| 11. シジュウカラ | 12. ヤマガラ | 13. メジロ | 14. アオジ | 15. カワラヒワ |
| 16. シメ | 17. スズメ | 18. ムクドリ | 19. ハシボソガラス | 20. ハシブトガラス |
| 21. ガビチョウ | | | | |

企画展「アオバトのふしぎ」

大磯町照ヶ崎海岸がアオバトの集団飛来地として、平成 8 年 2 月に神奈川県天然記念物に指定されてから今年が 10 周年にあたります。これを記念して、大磯町が大磯郷土資料館で企画展を行うことになりました。全国でも珍しいアオバトの海水吸飲のための飛来地として照ヶ崎の貴重な存在、アオバトの魅力と謎などを多くの方にも知っていただくという目的です。こまたんは共催という形で全面的に協力しており、郷土資料館の担当の学芸員の方と数回の打ち合わせを行っています。これからも打ち合わせが続けられます。誰でも自由に参加できますので、興味のある方はどうぞ。企画展の詳細な内容などはまだ最終的な決定はしていませんが、打ち合わせの中から見えてきたことを紹介します。

会場、会期などは下欄の通りです。

途中で燻蒸期間が入るので、これを境にして前期と後期の展示替えを行います。前期は「なぜ海水を飲むのか?」、後期は「どんな暮らしをしているのか?」をテーマに掲げてこれに相応しいパネル・写真を展示します。前後期を通しての目玉は、日本ワイルドアート協会副会長の巻島克之さんが 2002 年ジャパンボードフェスティバル「ワイルドアート展」において山階鳥類研究所長賞を受賞された大作(横 2m × 縦 1.1m)『照ヶ崎とアオバト』をはじめとしたアオバト連作シリーズの絵画の一挙展示です。迫力満点の素晴らしいものです。この機会に是非ご覧になることをお勧めします。

会場の中央の展示台には照ヶ崎の岩場で海水を飲むアオバトの群れの超大型のパネルが置かれ、会場の隅から岩場に向かって舞い降りる美しいアオバトの群れも見られます。また、照ヶ崎の航空写真・パノラマ写真や映像による展示も行われます。

期間中には企画展と連動した関連行事も予定されています。アオバト観察会が会期中に 3 回、5・6・7 月の最終日曜日に午前 7 時から 9 時まで行われます。都合のよい時間に自由に参加できますが、なるべく早い時間がお勧めです。「アオバトのふしぎ」についての楽しいトークショーは 6 月 25 日(日)の午後 1 時から郷土資料館講堂です。こまたんメンバーが映像を使って楽しくお話します。

この企画展を見れば今まで判明しているアオバトのすべてが分かる仕組みにしようと、知恵を絞って展示内容の構想を練っています。ご来場をお待ちしています。

会場：大磯町郷土資料館 入館無料

会期：2006 年 5 月 28 日(日)から 7 月 30 日(日) 9:00～16:30(入館は 16:00 まで)
前期展示 ... 「なぜ海水を飲むのか?」 5 月 28 日(日)～6 月 25 日(日)
後期展示 ... 「どんな暮らしをしているのか?」 7 月 4 日(火)～7 月 30 日(日)

休館日：毎週月曜日(7 月 17 日は除く)、毎月 1 日、祝日の翌日、燻蒸期間中

燻蒸期間(予定) ... 6 月 26 日～7 月 3 日

会期中の休館日 ... 5/29、6/1、6/5、6/12、6/19、6/26～7/3、7/10、7/18、7/24

アクセス：JR 東海道線・大磯駅下車

バス ... 二宮駅行・国府津駅行・湘南大磯住宅行で「城山公園前」下車、徒歩 5 分

徒歩 ... 30 分(大磯駅から約 2km)

関連行事：アオバト観察会 ... 照ヶ崎海岸にて 5 月 28 日(日)、6 月 25 日(日)、7 月 30 日(日)
午前 7 時～9 時 実施時間内に自由に参加

トークショー ... 郷土資料館講堂 6 月 25 日(日) 午後 1 時～3 時 定員 100 人

こまたんメンバーによる「アオバトのふしぎ」についての映像を使った楽しいお話

干潟を守る日 2006 - Wetland Day in Japan

1997年4月14日、それは長崎県の諫早湾が干拓事業のために閉め切れ、広大な干潟とそこに生息していた生きものたちが消滅することになった日です。その日を忘れることなく、諫早干潟の回復や各地の干潟・湿地の保全を進めていくために、JAWAN(日本湿地ネットワーク)では4月14日を「干潟を守る日」とする全国的な湿地保護キャンペーンを毎年行っています。今年も、潮干狩りや春の渡り鳥のシーズンである4月から5月にかけて、湿地の保全をアピールする活動が実施されます。全国各地で開催されるさまざまなイベントに参加して、水辺の素晴らしさ、大切さ体験してください。

--- 「干潟を守る日 2006」パンフレットより ---



こまたんでも「干潟を守る日 in 花水川」という観察会を行います。

日 時 : 4月30日(日) 午前7時30分から 小雨決行

場 所 : 平塚市・花水川

集 合 : 高麗ハイツ横の公園

参加費 : 無料

春の陽射しを感じながら、花水川を花水橋から河口に向かって右岸をゆっくり歩きます。川岸や洲には渡る前の冬鳥、渡ってきた鳥が私たちを楽しませてくれるでしょう。鳥のクイズ&ピングも 있습니다。

【お知らせ】

鷹取山・吉沢自然観察会 - 第52回 市民探鳥会

コース : 東の池 谷戸川 鷹取山 霧降の滝 松岩寺

日 時 : 4月16日(日) 午前9時15分(午後2時頃、松岩寺で解散) 雨天中止

集 合 : 神奈中バス「生沢」バス停前 東の池 午前9時

JR 平塚駅北口 地下道降り口付近 午前8時15分(8:30発のバスに乗ります)

JR 二宮駅南口 階段下 午前8時30分(8:45発のバスに乗ります)

持ち物: お弁当と飲み物は必ず準備してください。帽子・衣類・筆記用具・雨具。

あれば双眼鏡・図鑑など

定例カウント調査

吉沢 & 土屋 2006年5月6日(第1土曜日)

鷹取山 2006年5月13日(第2土曜日)

4月から集合時間が変わっています。参加される方はご注意願います。

午前6時に高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合、車で移動します。または6時15分までに、第1土曜日は松岩寺駐車場、第2土曜日は東の池に直接来られても結構です。参加の連絡は不要ですが、いずれも時間が来れば出発してしまいますので、時間厳守をお願いします。午前中に解散。雨天中止。

問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

花水川・平塚大橋付近のサギねぐら調査

観察日	天気	アオサギ	ダイサギ	チュウサギ	コサギ	ゴイサギ	サギ合計	ムクドリ
3/5		0	0	0	0	0	0	60
3/11		0	1	0	0	0	1	500
3/17		0	0	0	0	0	0	0
3/21		0	0	0	0	0	0	0
3/28		0	0	0	0	0	0	0
4/3		1	0	0	0	0	1	0

平塚大橋上流の中州の掘削と橋の架け替え工事が続いており、その影響を受けているのかサギ、ムクドリとも飛来数が非常に少なくなっている。3月中旬以降はムクドリが全く姿を見せなくなっている。

その他の野鳥情報

アオサギ

3月8日、花水川の中州で婚姻色の1羽が巣材をくわえて飛び立った。3月中旬に花水川近くの竹藪で巣が見つかり、抱卵が確認された。3月29日にも抱卵中。

この付近での繁殖の記録は初めてであり、静かに巣立ちを見届けたいと思っています。場所の説明・質問への答えはできませんのでご理解をお願いします。

ヒレンジャク

3月11日、大磯町虫窟、11羽。3月15日、伊勢原市・比々多神社、14羽。3月31日、平塚市吉沢・日ノ宮山、1羽。4月1日、平塚市土屋・谷戸、1羽。

ツバメ

3月21日、花水川、1羽、初認です。3月22日、平塚市出縄、1羽。3月26日、花水川、2羽。3月28日、渋田川、1羽。その後、各地で見られるようになってきた。

イワツバメ

3月22日、花水川、3羽、初認です。3月26日、花水川、5羽。3月28日、渋田川、5羽。その後、各地で見られるようになってきた。

ツグミ

3月26日、花水川、1羽、つぶやくような小さな声でさえずっていた。

セッカ

3月26日、花水川、1羽、声が聞こえた、初認。

イソヒヨドリ

3月26日、花水川、1羽、さえずり。

次回の定例探鳥会は2006年5月14日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第230号 / 4月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>